

教育の充実と発展を： 教育研究所開所

本年四月一日教育に関する調査研究および教育関係職員の研修などを行い、研究とその成果の普及を図ることを目的とする仁淀川町教育研究所が中央公民館二階に開所しました。

五月二十三日には関係者が出席して開所式が行われました。

開所式には中部教育事務所・依岡雅文所長や藤崎富士登町長、橋本真一町議会議長ら来賓のほか、町内の教育関係者約三十人が出席して、中央公民館で行われました。

式では吉岡国弘教育次長が開所までの経過報告、続いて大野敏光教育長のあいさつの後、中部教育事務所長から「地域教育の課題に対応する研究所の開所は意義のあること。ますますの教育の向上を期待する」、町長からは「研究所の開所により青少年の育成・教育がますます盛んになるであろう。町としても充実した教育環境作りに全力で取り組んでいく」などと祝辞があり、これに対して堅田潤

平教育研究所長が「より良い研究所になるように、また子どもたちのために全力投球する」と謝辞を述べました。

最後にネームプレートの除幕をし、式を終りました。



ネームプレートの除幕

県教育委員会や町当局をはじめ、多くの関係の皆さま方のご尽力により、仁淀川町教育研究所が開所となり、先日その開所式が行われました。

依然厳しい財政事情など困難が多い中で、設置の必要性を説き、懸命にお骨折りでくださった方々の大きな力に、改めて敬意を表し、心から感謝とお礼を申し上げます。

教育研究所は、その名前のとおり、教育に関する調査研究や教育職員の研修を行い、また本町の実情に即した教育の開発に努め、成果を広く普及していくことを役割としていきます。

つまり教育全般にわたってかわることになります。まずよりよい授業づくりや心を育てる教育の研究を中心に据える一方、「仁淀川町はひとつ」の意識の下に、保・幼・小・中・高のつながりを強め、この地域ならではの取り組みを進める上で、重要な役目を果たしていかなければならないと、決意を新たにしております。

この地域ならではの取り組みを 開所に寄せて

堅田潤平所長



左から堅田所長、森雅人・松田美由貴研究員、金子利香主任

このようにしてできた教育研究所ですから、名実ともに地域の教育を支え、実際に生きて働く機関として教育関係者はもとより、町民の方たちにも喜んでもらえる、頼りにしてもらえらるものにしていくことが求められています。

それには教育現場にしっかりと軸足を置き、先生方とともに歩む研究所を目指す。そして、皆さまの率直なご意見や貴重なご提言をいただきながら、期待に応えられる研究所づくりに微力を尽くしてまいりますので、何かとお力添えのほどよろしくお願い申し上げます。

なお、当教育研究所は、私のほかに二人の研究員（森 雅人、松田美由貴）と主任（金子利香）の四人体制で運営しております。

中央公民館二階の正面突き当たり右奥に一室を構え、来客大歓迎でやっておりますので、どんなところかのぞきがてら、ぜひ一度お立ち寄りください。お待ちしております。

住民の皆さんとともに考え、活動していきます

地域の元気応援団＝地域支援企画員



濱渦 光彦

地方分権が進むこれからの時代は、地域の自立に向けて、住民の皆さんや町が中心となつて特色ある魅力的な地域づくりを進めていくことが大切になっていきます。

県では、これまでのように机の上で考えたことを町や地域に働きかけていくやり方から、県職員自身が地域に入つて、地域の現状や住民の皆さんが求めているものを直接肌で感じ、それぞれの地域にあった取り組みと一緒に考え活動していくことにしました。

このため、地域の元気づくりや支え合いの取り組みを応援する目的で、県内で総勢六十人、仁淀川町では刈谷嘉秀、貞廣展明の二人の地域支援企画員が活動しています。

町と連携しながら、住民の



刈谷 嘉秀

皆さんとともに考え活動することを基本に、地域資源活用、施設活用、自主防災活動など、住民力を生かし自ら活動していく取り組みへのアドバイス、情報提供、人や行政とのパイプ役などのお手伝いをしています。

ぜひ、ご相談ください。

問い合わせ先
仁淀川町大崎七〇六一
旧高吾北消防署吾川出張所
☎ 20・2072

四月一日付の県職員人事異動で、仁淀川町駐在に刈谷嘉秀が、また仁淀川流域（仁淀川町・越知町・佐川町・日高村）の総括（元気応援団長）に濱渦光彦（越知町駐在）が着任しました。よろしくお願ひいたします。

6月1日は人権擁護委員法が施行された日です。

「人権」とは、「人が幸せに生活するために必要な権利」です。

人権擁護委員は、住民の皆さんが、人権の侵害を受けることのないよう、絶えず見守り、もし人権が侵害されたときには、その相談相手となったり、法務局と連携して事実関係の調査を行うなど、人権を侵された人の人権救済を図ることを使命としています。

また住民の皆さんが、お互いの人権を尊重する心をはぐくみ、差別のない明るい社会を築くため、さまざまな人権啓発活動も行っています。



人権イメージキャラクター
人KENあゆみちゃん・人KENまもる君

人権擁護委員制度をぐ存じですか 六月一日は「人権擁護委員の日」

家庭や職場、地域社会などにおいて、同和問題などの差別・セクハラ・DV・いじめ・児童虐待など、人権に関する困りごとや心配ごとがありましたら、お気軽に法務局または人権擁護委員にご相談ください。無料・秘密厳守で相談に応じます。

現在、高知県内では188人の人権擁護委員が、各地域で活動しています。

本町の人権擁護委員は、次の方々です。

渡邊助三郎（竹ノ谷・6月30日まで）
坂本 直子（大植）
片岡 健二（森）
藤原 幸子（大崎）
山口 芳正（竹ノ谷・7月1日から）

※DV（ドメスティック・バイオレンス）
配偶者や恋人など親密な関係にある、またはあった異性から振るわれる暴力。



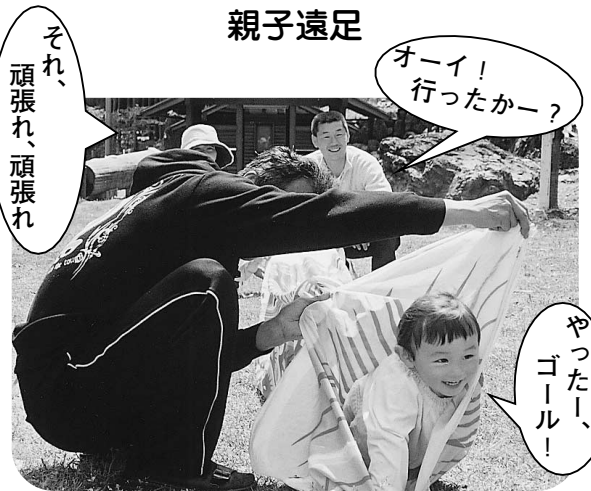
ほほえみ

No.9



名野川保育所

親子遠足



4月28日、夢の森公園に親子遠足に行きました。

ポカポカよいお天気の中、こいのぼり運動会を行い、公園は子どもたちの元気な声と、お家の方の声援でにぎわいました。

大崎保育所

みんな元気に！こいのぼり運動会

4月27日、こいのぼり運動会を行いました。

子どもたちは、練習が十分できていませんでしたが、元気にこいのぼりリレーなどをして頑張っていました。



2歳児のかけっこ

ふたば保育所

新年度がスタートし、二カ月が過ぎました。春の行事に参加して、楽しい保育所生活を送っている子どもたちです。

四月十八日には玄関のボタン桜の下でお花見弁当を食べました。このお弁当は毎年、片岡丑之助さん（森土居）から善意でいただいています。ありがとうございました。

五月二日はこいのぼりおたのしみ会で、ゲームやかけっこをしてひと足早い「子どもの日」のお祝いをしました。



お花見弁当、いただきます

長者保育所

こいのぼりを作ったよ



こいのぼり、上手にできたでしょう？

手作りのこいのぼり。風を受けると、こいのぼりの先につけた風車がクルクルと回るのがうれしくて園庭を走り回ったり、ジャングルジムの上に登って青空に向かって泳がせたりしていました。強くて優しい子どもになりました。

池川保育園

ひよこ誕生！

池川保育園で飼育しているニワトリに三月の下旬ひよこが二羽誕生しました。「ちっちゃいねえ、かわいいねえ」と子どもたちは喜びながらも恐る恐る指先で触ってみたり、手のひらに乗せたりして、大事そうに触れていました。この時間だけは、お母さんになったような気持ちの園児たちでした。



ひよこさん、元気に育ってね

池川幼稚園

宮崎の河原へ春の遠足



気持ちのいいお天気。思いっきり遊んだよ

五月一日、お弁当やお菓子の入ったリュックサックを背負って、国道439号の歩道をゆつくりと歩きながら、宮崎の河原へ遊びに行きました。

園児たちは、石を並べたり、砂の上を素足で歩いたり、川の中へ石を投げ込んだりしながら、全身で自然を感じることができました。

思いっきり遊んだ園児たちには、幼稚園への帰り道は遠く感じられたことでしょう。



地域安全アドバイス

*** 佐川警察署内・高吾北地区地域安全協会 ☎22-0560 ***



商品を購入する際、契約は慎重に。

商品を購入したものの、実際には必要のないものだった…。などということはありませんか？
商品の購入をする際は、本当に必要なものなのかを考えて契約しましょう。
不必要なものであれば、きっぱりと断るようにしましょう。



商品を購入または契約する際には…



(1)
不必要な商品であれば、きっぱりと



(2)
よく考えて契約を。

(3)
もしも商品が気に入って契約する際には、領収証や契約書などの書面は必ずもらうようにしましょう。



商品を購入した後、被害を受けたと思ったら

だまされたり、脅かされたり、特定の書面を渡さなかったり、相手が偽の会社名を使っていたなどという場合には法律にも触れるので、被害の状況などを警察に届け出て相談をするようにしてください。
佐川警察署 ☎22-0110